

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月 1日

事業所名 スタジオそら武蔵野

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	8	0	・粗大運動や集団での活動は大部屋、学習や微細運動などは小部屋を使用するなど、分けて使用している。	・限られたスペースを有効活用するよう、個々の課題を念頭に置き、適切にスペースを使用する。
	② 職員の配置数は適切であるか	8	0	・児童発達管理責任者、児童指導員、保育士がそれぞれ適切に配置されている。	・個々の専門性を高めていく。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1	・小部屋は微細・学習、大部屋は粗大運動など、活動内容によって部屋を変えている。 ・視覚的に分かるよう、手洗い等の動作は写真で表示されている。また、見通しが持てるよう、絵カードを使ったスケジュールの提示を行っている。	・より過ごしやすくなるよう工夫していく。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	8	0	・日々午前・午後の療育後に療育道具・床等消毒し清掃している。 ・学習、微細の小部屋は、分かれているため集中できる環境になっている。	・より集中して取り組めるよう、環境を整備していく。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	8	0	・午前、午後の開始時のミーティングで目的や療育内容を話し合い、終礼時に内容を振り返り情報共有を行っている。	・PDCAサイクルに対しての自己評価を行い、意識を高める。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	8	0	・フィードバック時などにニーズをお伺いしている。	・評価アンケートのすべてにはお応えできないが、貴重なご意見として精査して対応していく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	・HPで公開している。	・今後も引き続き行う。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4	・第三者からの評価は未実施。	・必要に応じて、第三者評価の実施を検討する。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	・研修会を行っている。	・スタッフの技術を高めるため、スタジオでの研修などを企画・実施する。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・計画を立てる際は保護者様のご意見、お子様のアセスメントした結果をもとに、お子様の状況を考慮し、適切な計画を立てるよう努めている。	・発達段階の知識等の充実を図る。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	・社内共有のアセスメントツールを使用している。	・アセスメントに対する知識を増やす。
	⑫ 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	・本人支援を主にしながら、兄弟も参加出来るイベントを実施している。	・地域交流など、参加の機会を増やしていく。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	・支援計画に沿った支援内容、記録方法を行っている。	・引き続き充実を図っていく。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・イベントを行う際は、スタッフ内で相談し立案している。	・引き続き充実を図っていく。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	・個々の課題やその日の状態を考慮し、臨機応変にプログラム内容を変え、お子様が楽しく笑顔で活動できるよう工夫している。	・引き続き充実を図っていく。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	・個々の状況や発達段階に応じて、対人関係などの社会的な取得や、運動面や微細運動の取得を目標にして支援計画を立てている。	・より個々の状況を見極め、適切な支援計画を立てられるよう努める。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	・朝礼、昼礼を行い、その日の支援内容等の確認を行っている。	・引き続き充実を図っていく。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	8	0	・支援終了後に終礼を行い、お子様の状況変化や、保護者様のご要望等を報告し、共有している。また、業務日誌への記入や朝礼時に前日の振り返りを行う等、休みの職員との共有もしている。	・引き続き充実を図っていく。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	・日々の療育内容や子供の様子、変化等を、サービス提供記録に記録しています。	・引き続き充実を図っていく。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	・定期的にモニタリングを行い、課題の達成度や、これからの課題を確認し、保護者様のご要望なども聞き取っている。	・引き続き充実を図っていく。	
㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	・管理者・児発管が出席している。	・お子様の情報共有等をより適切に行っていく。	
㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	・必要に応じて子ども家庭支援センター等と連携して支援を実施している。	・より密な連携を図っていく。	

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	2	・重症心身障害児の受入は現在行っていない。必要な児については、保護者同伴での療育を実施している。	・必要に応じた連携を図っていく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	2	・重症心身障害児の受入は現在行っていない。医療的ケアが必要な児については、保護者同伴での療育を実施している。	・必要に応じた連携を図っていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	・要請があれば保育園への見学・意見交換を行っている。	・必要に応じた適切な情報共有を行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	・保護者様を通じて行っている。	・必要に応じた適切な情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3	・管理者・児発管が協議会へ参加している際に意見交換を行っている。	・必要に応じた適切な情報共有を行っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	8	・兄弟関係の子どもと一緒に参加出来るイベントを実施している。	・今後より交流を図ることが出来る機会を検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	8	・管理者・児発管が参加している。	・必要に応じた適切な情報共有を行っている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	・フィードバック時に、療育内容やお子様の变化をお伝えすると共に、お子様の様子や保護者様からのご要望等をお聞きしている。	・引き続き充実を図っていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	8	0	・フィードバック時などで、ご相談があった際には、的確にお答えできるよう努めている。	・ペアトレは未実施なので、実施できるような制度を構築できるよう目指していく。
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	・契約時、また必要に応じて随時説明を行っている。
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	・個別支援計画作成時に、その都度説明し同意を得ている。	・引き続き丁寧な説明を実施していく。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1	・フィードバック時などで、ご相談があった際には、的確にお答えできるよう努めている。	・引き続き丁寧な対応を実施していく。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	6	・待合室にての繋がりや他、必要に応じて、今後機会を設けることを検討している。	・今後ニーズがあれば開催を検討していく。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	・保護者様からのコメントや要望など、その日の終りで報告し記録に残し周知している。 ・ご相談がある場合は、フィードバック時以外で別途時間を作っていたり、対応している。	・引き続き丁寧な対応を実施していく。
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2	・HPIにてそら通信の更新を行なっている。	・毎月の請求送付物にそら通信のお知らせを同封している。
38		個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	・鍵付きの書庫で厳重に保管している。	・引き続き慎重に取り扱っていく。
39		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	・お子様の特性に合わせて、絵カード等を使用しコミュニケーションをとっている。	・より伝わりやすいコミュニケーション手段や支援方法等の知識の向上を図る。
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	・今年はないが、例年そらコンサートを実施している。	・より地域に開いた行事の展開について、検討していく。
非常時の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	・マニュアルの策定・訓練の実施を行なっている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2	・避難訓練を実施している。	・内容について保護者様にお知らせし、訓練への参加を呼び掛けている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	2	・事前に共有している。	・引き続き細やかに共有を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	・食物を扱うイベント実施の際は、事前に保護者様に聞き取りを行っている。	・引き続き、細心の注意を払っていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	・日々終りで確認を行っている。	・定期的に事例検討などの研修を行い、安全管理を徹底していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2	・社内研修を実施している。	・定期的に事例検討などの研修を行い、虐待防止を徹底していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0	・契約時にやむを得ず身体拘束を行なう場合について説明を行なっている。	・定期的に事例検討などの研修を行い、適切に対応できるよう努めていく。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。